

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 4 部門第 1 区分

【発行日】平成24年1月19日 (2012.1.19)

【公開番号】特開2010-133104(P2010-133104A)

【公開日】平成22年6月17日 (2010.6.17)

【年通号数】公開・登録公報2010-024

【出願番号】特願2008-308289(P2008-308289)

【国際特許分類】

E 0 3 C 1/20 (2006.01)

【 F I 】

E 0 3 C 1/20 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月25日 (2011.11.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

床パン本体の上部に嵌合固定される浴室用洗い場蓋であって、
周縁の少なくとも一側面に設けられ、前記床パン本体と嵌合することで鉛直方向に固定される嵌合部と、

前記嵌合部が切り落とされた場合に、前記床パン本体と嵌合する嵌合部材を正確な位置に取り付けるための位置決め手段と、を備え、
前記位置決め手段は、下面に成形時に形成されたものであることを特徴とする浴室用洗い場蓋。

【請求項 2】

前記位置決め手段は、前記洗い場蓋の下面から突出形成されたリブであることを特徴とする請求項 1 記載の浴室用洗い場蓋。

【請求項 3】

凹部を有する床パン本体と、

前記床パン本体の上部に取り付けられ、周縁の少なくとも一側面に切断面が形成された浴室用洗い場蓋と、

前記床パン本体の前記切断面側に取り付けられ、前記床パン本体の前記凹部と嵌合することで鉛直方向に固定される嵌合部材と、を備え、

前記浴室用洗い場蓋の下面には、前記嵌合部材を正確な位置に取り付けるために、前記浴室用洗い場蓋の成形時に形成された位置決め手段が設けられていることを特徴とする浴室用床パン。

【請求項 4】

前記位置決め手段は、前記洗い場蓋の下面から突出形成されたリブであることを特徴とする請求項 3 記載の浴室用床パン。

【請求項 5】

凹部を有する床パン本体の上部に嵌合固定され、周縁の少なくとも一側面に切断面が形成された浴室用洗い場蓋に対して、前記浴室用洗い場蓋の成形時に下面に予め形成された位置決め手段を基準として、前記床パン本体の前記凹部と嵌合することで鉛直方向に固定される嵌合部材を取り付け固定することを特徴とするユニットバスの組立方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

または、本発明の一態様によれば、凹部を有する床パン本体と、前記床パン本体の上部に取り付けられ、周縁の少なくとも一側面に切断面が形成された浴室用洗い場蓋と、前記床パン本体の前記切断面側に取り付けられ、前記床パン本体の前記凹部と嵌合することで鉛直方向に固定される嵌合部材と、を備え、前記浴室用洗い場蓋の下面には、前記嵌合部材を正確な位置に取り付けるために、前記浴室用洗い場蓋の成形時に形成された位置決め手段が設けられていることを特徴とする浴室用床パンが提供される。

または、本発明の一態様によれば、凹部を有する床パン本体の上部に嵌合固定され、周縁の少なくとも一側面に切断面が形成された浴室用洗い場蓋に対して、前記浴室用洗い場蓋の成形時に下面に予め形成された位置決め手段を基準として、前記床パン本体の前記凹部と嵌合することで鉛直方向に固定される嵌合部材を取り付け固定することを特徴とするユニットバスの組立方法が提供される。